

1. 会社概要

2. 事業内容 (運輸サービスセグメント)

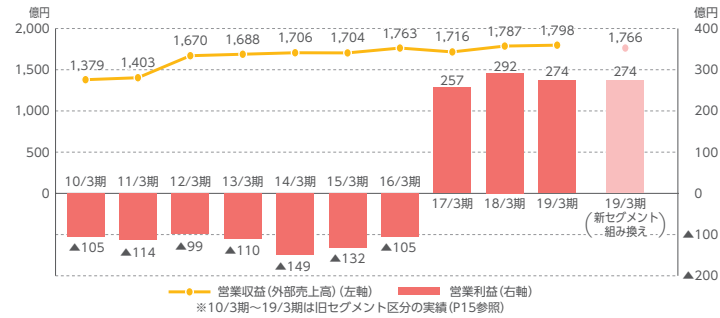
3. 事業内容 (不動産・ホテルセグメント)

4. 事業内容 (その他のセグメント)

5. データ

6. その他

運輸サービスセグメントの概要



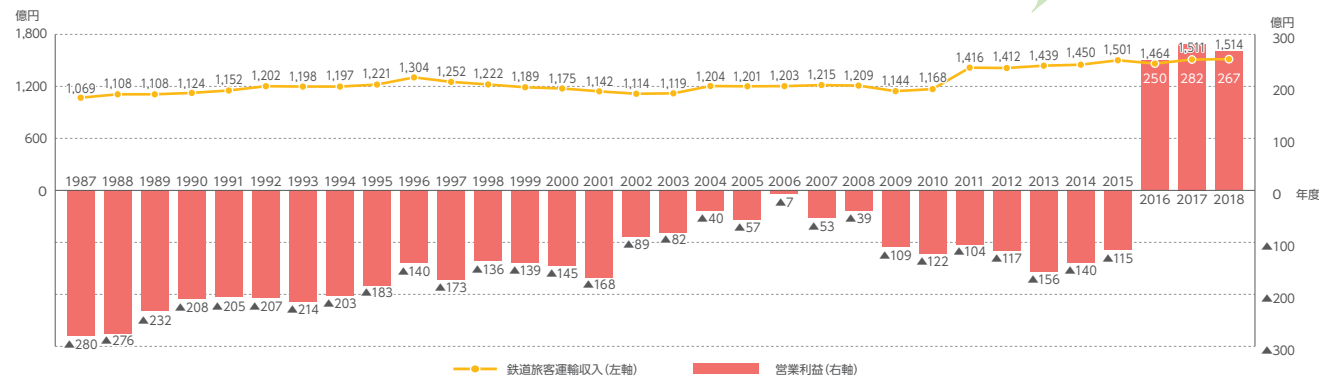
鉄道事業

路線概要 (2019年3月31日現在)

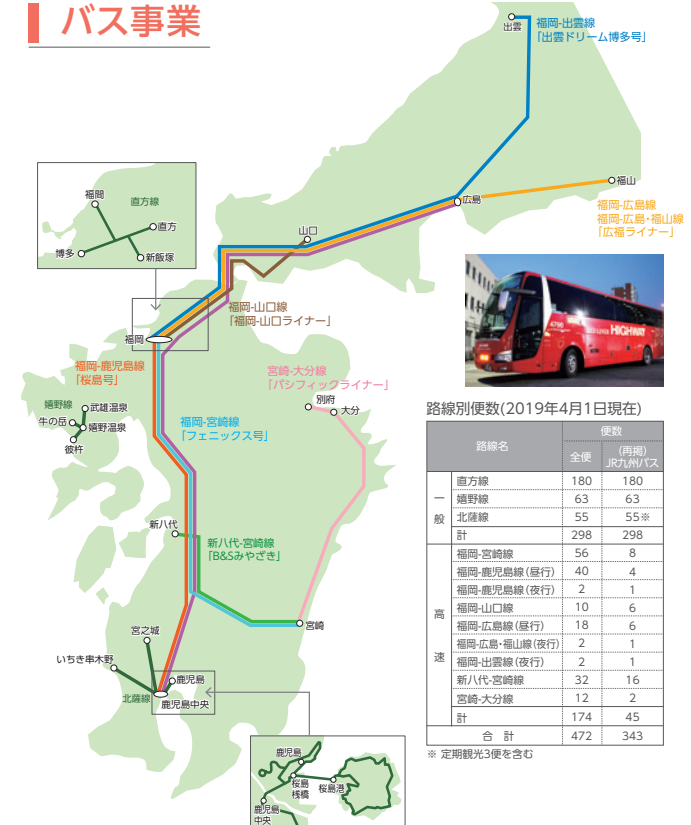
	線数	営業キロ (km)	駅数	電化率 (%)
新幹線	1	288.9	4 (11)	100
幹線	8	1,042.9	297	95
地方交通線	13	941.2	267	7
合計	22	2,273.0	568	59

※駅数中 () 内は新幹線と在来線の併設駅を含めた駅数

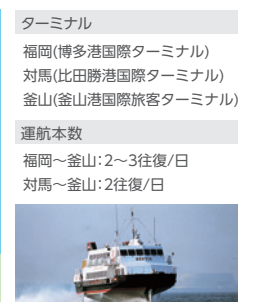
鉄道事業における鉄道旅客運輸収入 および営業利益の推移



バス事業



船舶事業



1. 会社概要

2. 事業内容 (運輸サービスセグメント)

3. 事業内容 (不動産・ホテルセグメント)

4. 事業内容 (その他のセグメント)

5. データ

6. その他

鉄道事業の状況

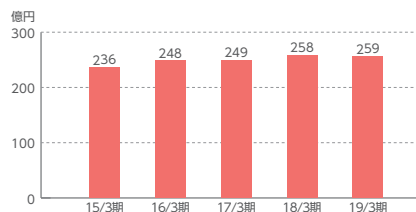
鉄道旅客運輸収入の推移

(単位:億円)

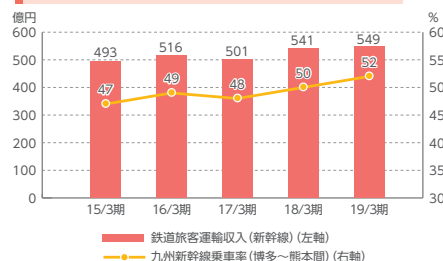
		2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期	2018 /3期	2019 /3期
新幹線	定期	7	8	20	23	24	25	26	26	26	27
	定期外	94	123	477	459	464	467	490	474	514	522
	計	102	131	498	482	489	493	516	501	541	549
在来線	定期	284	286	288	291	296	293	295	294	296	297
	定期外	758	750	630	637	654	663	688	668	673	668
	計	1,042	1,037	918	929	950	957	984	963	970	965
合計	定期	291	294	309	314	320	319	322	321	323	324
	定期外	852	874	1,107	1,097	1,118	1,131	1,179	1,143	1,188	1,190
	計	1,144	1,168	1,416	1,412	1,439	1,450	1,501	1,464	1,511	1,514
指数(1988/3期=100)		107	109	132	132	135	136	140	137	141	142

鉄道旅客運輸収入(近距離※)

※50km以内



鉄道旅客運輸収入(新幹線) 九州新幹線乗車率(博多～熊本間)



車両数

車両別在籍車両数(2019年3月31日現在)

(単位:両)

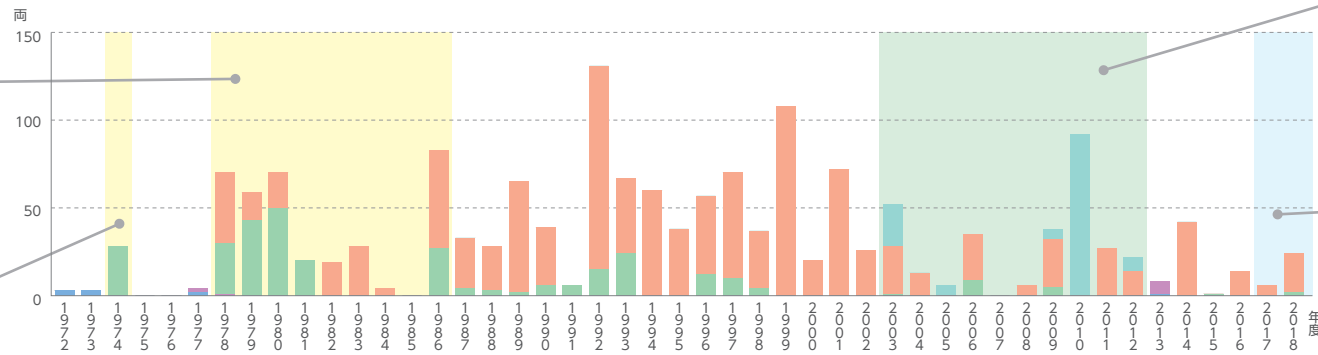
車 両	SL 蒸気機関車	EL 電気機関車	DL 内燃機関車	TEC 新幹線	EC 電車	DC 気動車	PC 客車	その他	計
両 数	1	0	9	136	1,178	304	10	31	1,669

車両製造年度(2019年3月31日現在)

■ 内燃機関車 ■ 新幹線 ■ 電車 ■ 気動車 ■ 客車

在来線(電車) 415系
製造年度 1978年度～1986年度

在来線(気動車) ㌦66・67形式
製造年度 1974年度



※SL、その他の車両は除く

輸送データ

輸送人キロ

(単位:百万人キロ)

		2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期	2018 /3期	2019 /3期
新幹線	定期	58	66	157	176	186	188	194	196	195	199
	定期外	325	423	1,666	1,605	1,639	1,674	1,735	1,655	1,809	1,832
	計	384	489	1,823	1,782	1,825	1,863	1,929	1,852	2,004	2,032
在来線	定期	3,820	3,870	3,915	3,943	4,069	3,946	4,026	4,018	4,011	4,015
	定期外	3,698	3,714	3,149	3,198	3,287	3,329	3,421	3,320	3,319	3,237
	計	7,518	7,585	7,064	7,141	7,357	7,275	7,448	7,339	7,331	7,252
合計	定期	3,879	3,936	4,073	4,119	4,256	4,134	4,221	4,214	4,207	4,214
	定期外	4,023	4,137	4,815	4,804	4,926	5,003	5,156	4,976	5,129	5,070
	計	7,902	8,074	8,888	8,924	9,182	9,138	9,378	9,191	9,336	9,285

輸送人員

(単位:百万人)

		2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期	2018 /3期	2019 /3期
合計	定期	193	196	201	203	211	206	212	213	215	217
	定期外	99	101	108	110	112	113	118	118	121	121
	計	292	297	310	314	323	319	330	331	337	338
新幹線	定期	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	定期外	2	3	9	9	10	10	10	10	11	11
	計	3	4	11	12	12	12	13	13	14	14

※新幹線の輸送人員は再掲

列車キロ、車両キロ

(単位:百万キロ)

		2010 /3期	2011 /3期	2012 /3期	2013 /3期	2014 /3期	2015 /3期	2016 /3期	2017 /3期	2018 /3期	2019 /3期
列車キロ	新幹線	3	3	9	10	10	10	10	9	9	9
	在来線	66	65	61	61	61	61	61	60	60	56
	計	69	69	71	71	72	71	71	69	69	65
車両キロ	新幹線	19	23	68	72	72	71	71	64	70	68
	在来線	273	271	248	248	250	250	250	247	243	230
	計	292	295	317	320	322	322	322	311	314	299

新幹線 800系
製造年度 2003年度～2010年度



新幹線 N700系
製造年度 2010年度～2012年度



在来線(電車) 821系
製造年度 2017年度～



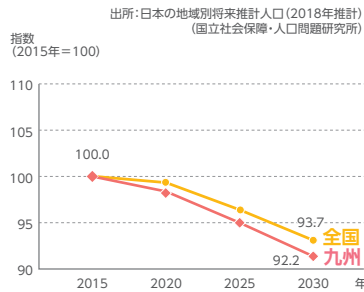
在来線(気動車) YC1系
製造年度 2018年度～



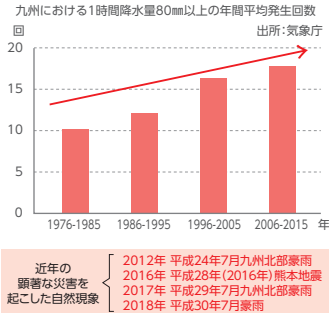
収支改善による持続的な鉄道サービスの構築について

背景

全国を上回るペースの九州の人口減少



増加する九州の自然災害



老朽設備への対応

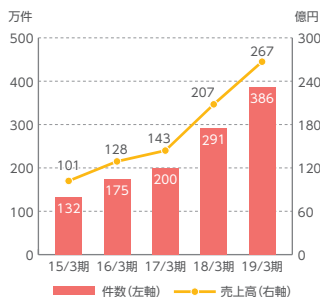


人口減少による市場縮小、少子高齢化による労働人口減少、自然災害の頻発・激甚化、老朽化する設備への対応に向けて、収益機会の追及、将来に向けた生産性の向上を図っていく。

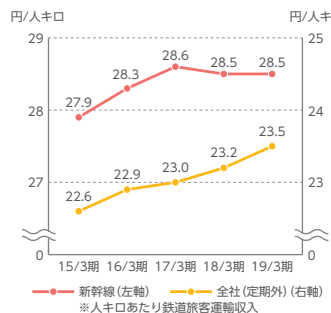
収益機会の追求

- インターネット予約システムの利便性向上によるネット販売比率アップ
- 近距離の収益力向上
- イールドマネジメントの強化
- 海外旅行代理店や航空会社と連携した「JR九州レールパス」の販路拡大
- D&S列車運行を通じた観光資源の発掘

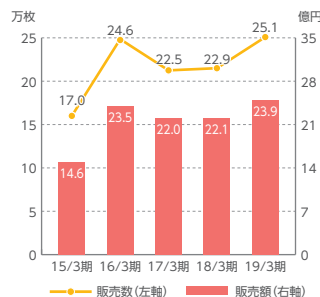
インターネット列車予約サービス予約件数、売上高



イールド※(全社(定期外)、新幹線)



JR九州レールパス販売額及び販売数



生産性の向上

サービス

- Smart Support Stationの導入・拡大
駅に設置した監視カメラやインターホンを通じてサポートセンターのオペレーターがお客さまをご案内
- アシストマルスの導入
インターホンと遠隔操作機能を付加した券売機を通じて遠隔のオペレーターがお客さまをサポート

オペレーション

- 新列車制御システムの実証実験
無線を活用して地上設備をスリム化する新しい列車制御システムの実証実験を実施
- 自動運転の実証実験
動力車操縦者が乗務しない形態の自動運転の実現に向けた実証実験を実施
- ワンマン運転の拡大
ホーム監視装置やホーム検知装置の導入により安全性を担保しながらワンマン運転を推進

メンテナンス

- ドローン・ロボットを活用した保守検査の検討
- 不要資産の計画的撤去
- 営業列車を活用した線路モニタリング
営業列車にモニタリング装置を搭載し検査を省力化

エネルギー

- 省エネ車両の開発および導入拡大
エネルギー効率の高い車両の導入により動力費・修繕費を削減
- 蓄電池技術の活用
回生電力の有効活用により電力使用量を削減

Smart Support Station

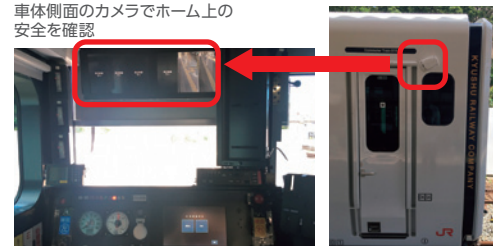


安全確認
ご案内

レール自動溶接機



ホーム監視装置(車側カメラ)
車体側面のカメラでホーム上の
安全を確認



省エネ車両(蓄電池電車)

